



## 2024年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年3月8日

上場会社名 メディア総研株式会社 上場取引所 東 福  
コード番号 9242 URL <https://mediasouken.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 浩二  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 谷口 陽子 TEL 092-736-5587  
四半期報告書提出予定日 2024年3月11日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年7月期第2四半期の連結業績（2023年8月1日～2024年1月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第2四半期	770	—	263	—	264	—	172	—
2023年7月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年7月期第2四半期 172百万円 (—%) 2023年7月期第2四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第2四半期	143.29	139.15
2023年7月期第2四半期	—	—

(注) 2023年7月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年7月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年7月期第2四半期	1,663	1,369	82.3
2023年7月期	1,358	1,182	87.1

(参考) 自己資本 2024年7月期第2四半期 1,369百万円 2023年7月期 1,182百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年7月期	—	0.00	—	—	—
2024年7月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年7月期の連結業績予想（2023年8月1日～2024年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,232	29.1	289	42.8	291	44.4	202	66.6	169.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料p. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年7月期2Q	1,224,900株	2023年7月期	1,196,700株
② 期末自己株式数	2024年7月期2Q	38株	2023年7月期	38株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年7月期2Q	1,204,788株	2023年7月期2Q	1,191,862株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(収益認識関係) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社は、前第2四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、ペントアップ需要の顕在化などに支えられ、経済・社会活動は緩やかな回復基調であるものの、緊迫した国際情勢や急激な円安進行などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域である人材・就職支援業界においては、2023年12月の有効求人倍率は1.27倍（前年同月は1.35倍。厚生労働省調査）、完全失業率が2.4%（前年同月は2.5%。総務省統計局調査）であり、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準を上回ってはいないものの、改善傾向にあることから、先行きは有効求人倍率・完全失業率の改善が続く可能性が高く、特に九州地区ではTSMC熊本工場の新設等も相まって、当社が主力としている「理工系新卒人材」の企業ニーズは、一層競争激化が進むものと想定されます。

このような環境のなか、当社の主力であるイベント企画「高専生のための合同会社説明会」及び「学内合同会社説明会」の販売活動と並行して個々のイベント運営の成功に向け、参加学生の動員を図りました。また、このような理工系人材の希少性を鑑み、理工系人材の採用を軸に新たなサービスとして採用支援などの企画・サービスを進めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は770,736千円、営業利益は263,796千円、経常利益は264,984千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は172,635千円となりました。

なお、当社グループは、主たる事業である学生イベントの開催日が第2、第3四半期連結会計期間に集中する傾向があり、通常、第2、第3四半期連結会計期間の売上高は第1、第4四半期連結会計期間の売上高と比べて著しく増加する傾向にあります。

(2023年7月期の売上高並びに営業利益及び営業損失)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
売上高（百万円）	80	537	235	102	955
営業利益又は営業損失 （△）（百万円）	△59	288	41	△68	202

(注) 2023年7月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、それ以前については単体の数字を記載しております。

(2024年7月期の売上高並びに営業利益及び営業損失)

	第1四半期	第2四半期
売上高（百万円）	127	642
営業利益又は営業損失 （△）（百万円）	△67	331

また、当社グループは学生イベント事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産・負債及び純資産の状況

## (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,420,696千円となり、前連結会計年度末と比べ308,859千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が201,023千円、売掛金が103,062千円増加したこと等によるものであります。

## (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は242,824千円となり、前連結会計年度末と比べ3,631千円の減少となりました。これは、投資その他の資産が3,483千円増加したものの、有形固定資産が2,272千円、無形固定資産が4,841千円それぞれ減少したことによるものであります。

## (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は293,634千円となり、前連結会計年度末と比べ118,183千円の増加となりました。これは主に、未払法人税等が52,524千円、買掛金が33,429千円増加したこと等によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,369,887千円となり、前連結会計年度末と比べ187,045千円の増加となりました。これは、新株予約権の行使により資本金並びに資本剰余金がそれぞれ7,205千円、利益剰余金が172,635千円増加したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、1,281,899千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、189,033千円の資金増加となりました。これは主に、売上債権の増加103,062千円等による資金の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益264,984千円等による資金増加によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、2,420千円の資金減少となりました。これは、無形固定資産の取得による支出2,420千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、14,410千円の資金増加となりました。これは、株式の発行による収入14,410千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年9月13日の「2023年7月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,080,875	1,281,899
売掛金	14,504	117,567
仕掛品	2,118	2,136
貯蔵品	527	417
その他	13,968	18,806
貸倒引当金	△156	△129
流動資産合計	1,111,837	1,420,696
固定資産		
有形固定資産	37,358	35,085
無形固定資産		
のれん	1,261	504
その他	45,246	41,161
無形固定資産合計	46,507	41,666
投資その他の資産	162,589	166,073
固定資産合計	246,455	242,824
資産合計	1,358,292	1,663,521
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	19,697	53,126
未払法人税等	46,165	98,689
賞与引当金	8,329	9,849
その他	101,258	131,968
流動負債合計	175,450	293,634
負債合計	175,450	293,634
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	241,147	248,352
資本剰余金	191,147	198,352
利益剰余金	750,607	923,242
自己株式	△60	△60
株主資本合計	1,182,842	1,369,887
純資産合計	1,182,842	1,369,887
負債純資産合計	1,358,292	1,663,521

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2023年8月1日 至2024年1月31日)
売上高	770,736
売上原価	174,405
売上総利益	596,330
販売費及び一般管理費	332,534
営業利益	263,796
営業外収益	
受取手数料	276
代理店手数料	733
その他	405
営業外収益合計	1,414
営業外費用	
解約金	226
営業外費用合計	226
経常利益	264,984
税金等調整前四半期純利益	264,984
法人税等	92,349
四半期純利益	172,635
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	172,635

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2023年8月1日 至2024年1月31日)
四半期純利益	172,635
四半期包括利益	172,635
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	172,635
非支配株主に係る四半期包括利益	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自2023年8月1日 至2024年1月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	264,984
減価償却費	8,778
のれん償却額	756
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△26
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,520
受取利息及び受取配当金	△5
売上債権の増減額 (△は増加)	△103,062
棚卸資産の増減額 (△は増加)	91
仕入債務の増減額 (△は減少)	33,429
未払消費税等の増減額 (△は減少)	17,982
未払金の増減額 (△は減少)	3,788
その他	617
小計	228,853
利息及び配当金の受取額	5
法人税等の支払額	△39,825
営業活動によるキャッシュ・フロー	189,033
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
無形固定資産の取得による支出	△2,420
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,420
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
株式の発行による収入	14,410
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,410
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	201,023
現金及び現金同等物の期首残高	1,080,875
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,281,899

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社は、学生イベント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益のうち、サービス別及び収益認識の時期別に分解した情報は、以下のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間（自 2023年8月1日 至 2024年1月31日）

(単位：千円)

	学生イベント事業	合計
サービス別		
就職活動イベント	709,120	709,120
企画制作	61,615	61,615
合計	770,736	770,736
収益認識の時期		
一時点で移転される財又はサービス	683,661	683,661
一定の期間で移転される財又はサービス	87,074	87,074
合計	770,736	770,736

(重要な後発事象)

該当事項はありません。